

# コスモ松山石油株式会社

(2005年3月31日現在)

所在地	愛媛県松山市大可賀3-580
操業開始年月	1944年2月
面積	691,874m <sup>2</sup>
社員数	104名
ISO9001認証取得	1997.11.14認証取得
ISO14001認証取得	1998.12.28認証取得



## ✦コスモ松山石油について

コスモ松山石油は瀬戸内海国立公園の西側に位置し、石油製品および石油系溶剤類の生産販売を中心に、西日本各地のユーザーへの安定供給を行うとともに一部の製品は、丸善石油化学株式会社を介して韓国・中国・台湾を中心に輸出しています。

- 環境への取り組み：環境については、芳香族系の溶剤から環境影響の少ない、環境適合品への開発に努めています。また省エネのためにボイラーの燃焼用通風機をインバータ化し運転管理の見直しにより燃料使用量を削減しています。
- 安全への取り組み：「安全文化の伝承による、無事故・無災害の継続」を重点目標に掲げて取り組み、昭和58年から21年間、無事故・無災害を継続中です。また、ハットヒヤリ・キガカリ事項を抽出する活動を展開し、災害防止と危険に対する感性を養成しています。
- 地域社会に対する活動：「社会と調和した環境保全の推進」を経営の重点目標に掲げ、環境と安全に配慮しつつ地域から愛される企業をめざしています。近隣地区の年間行事（盆踊り・お祭り・敬老会・忘年会等）に協力・参加し、地域との協和・共生に努めます。



コスモ松山石油社長  
吉田 昌史

## ✦環境保全活動

- 省エネ  
「モーターのインバータ制御（HDRIVE方式）」の導入ほか

## ✦安全衛生活動

- 未然防止（ソフト対応）  
「ハットヒヤリ事項」「キガカリ事項」の抽出活動の展開
- 成果  
無事故・無災害を継続（21年間）

## ✦地域コミュニケーション活動

- 地域盆踊り大会や敬老会への参加
- 北条道の駅周辺クリーンキャンペーンへの参加
- 愛媛ふれあいの道活動の実施（会社前県道清掃年4回）ほか



## ✦環境関連資格保有者数

公害防止管理者（大気）	10名
公害防止管理者（水質）	11名
公害防止管理者（騒音）	1名
公害防止管理者（振動）	1名
公害防止管理者（ダイオキシン）	1名
危険物取扱者（甲・乙種）	113名
高圧ガス製造保安責任者（甲・乙種）	91名
エネルギー管理士（熱）	6名
エネルギー管理士（電気）	2名
特別管理産業廃棄物管理責任者	1名
産業廃棄物施設技術管理者	3名
ボイラー特級	1名
ボイラー1,2級	94名

2004年度製油所見学者数 **5件 162人**

労働無災害記録（延べ時間）（2004年12月現在） **6,732千時間**

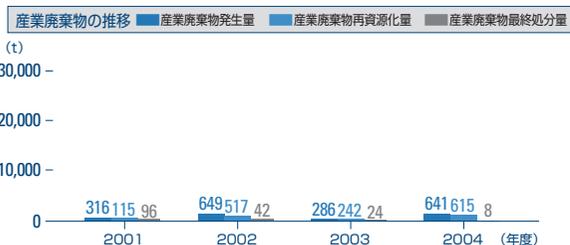
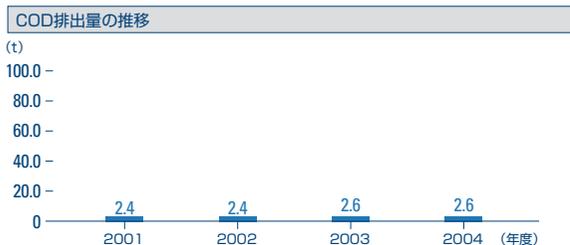
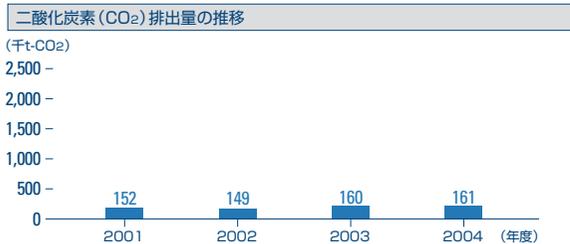
PCB保管状況 **高圧トランス 1台 その他**

法規制物質

大 気	物 質	規制値	2004年度実績	
			最大	平均
	NOx (m <sup>3</sup> N/時)	—	16.20	12.49
	SOx (m <sup>3</sup> N/時) (総量規制)	208	65.53	49.34
	ばいじん (ボイラー3HB) (g/m <sup>3</sup> N)	0.17	0.05	0.04

水 質	物 質	規制値	2004年度実績	
			最大	平均
	COD (kg/日) (総量規制)	361.5	27.6	7.1
	COD (mg/l)	15 (10)	4.9	2.7
	SS (mg/l)	20	6.0	2.0
	油分 (mg/l)	2	定量下限未満	
	窒素 (kg/日) (総量規制)	192.5	11.0	5.2
	窒素 (mg/l)	120 (60)	0.78	0.55
	リン (kg/日) (総量規制)	24.39	1.53	0.52
	リン (mg/l)	16 (8)	0.11	0.09
	フェノール類 (mg/l)	0.3	定量下限未満	

環境パフォーマンス (エネルギーなど)



環境パフォーマンス (PRTR)

PRTR対象物質	単位	排出量				移動量
		大 気	水 域	土 壌	合 計	
エチルベンゼン	kg/年	3,300	2.6	0	3,303	1.0
キシレン	kg/年	12,000	2.8	0	12,003	5.1
1,3,5-トリメチルベンゼン	kg/年	270	4.9	0	275	1.0
トルエン	kg/年	20,000	16	0	20,016	2.5
ベンゼン	kg/年	5,000	2.4	0	5,002	0.1
エチレンジクロール	kg/年	65	0	0	65	0
1,2-ジクロロエタン	kg/年	2,400	0	0	2,400	0
フェノール	kg/年	68	1.5	0	70	0.3

環境会計

環境保全コスト (百万円)

項 目	2004年度	
	投資額	費用額
1事業エリア内コスト		
公害防止コスト	0	70
地球環境保全コスト	0	0
資源循環コスト	0	3
2上・下流コスト		
グリーン購入によるコスト	0	0
製品の環境負荷低減コスト	6	549
製品の低硫黄化	(0)	(0)
ガソリンの有害物質代替	(6)	(432)
石油化学製品の芳香族分低減化	(0)	(117)
3管理活動コスト	0	41
4研究開発コスト	0	0
5社会活動コスト	0	0
合計	6	663

再生紙の購入費 0 (百万円)

経済効果 (百万円)

0
---

環境保全効果

項 目	2004年度
	環境負荷削減 (前年度一当年度) 負荷量
①事業エリア内の効果	
事業活動に投入する資源に関する効果	
エネルギーの投入	▲6 (TJ)
水の投入	▲106 (千t)
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する効果	
大気への排出	
CO <sub>2</sub>	▲1 (千t-CO <sub>2</sub> )
SOx	0 (t)
NOx	▲2 (t)
ベンゼン	▲0.30 (t)
水域への排出	
COD	0.00 (t)
廃棄物の排出	
産業廃棄物発生量	▲355 (t)
産業廃棄物再資源化量	▲373 (t)
産業廃棄物最終処分量	16 (t)
②上・下流の効果	
製品の環境負荷低減効果	
製品の低硫黄化	(潜在SOx量:t)
ハイオクガソリン	0
レギュラーガソリン	0
ナフサ	▲9
ジェット燃料	5
灯油	0
軽油	3
A重油	▲30
C重油	208
LPG	0
合計	176
ガソリンの低ベンゼン化	▲54 (t)
石油化学製品の芳香族分低減	▲1,983 (kg)
製品使用時のCO <sub>2</sub> 排出量	20 (千t-CO <sub>2</sub> )